

Y子通信

Merry Christmas 2004

寿ピンボ

暖かい日が続いているので何となく「クリスマス」という実感がありませんが、2004年も残すところあとわずか……。みなさん、いかがお過ごしですか？と書き始めたものの、今年もクリスマスには間に合わず……。とうとう大晦日に突入してしまいました。年末には雪も降って寒くなってきましたね……。今年、Y子の周りはおめでたいこと続きでした！

みなさんもお存知の通り、Y子はただ今27歳。社会人になってから4年ほど経った27歳。といえば……。Y子の周辺にも、「第一次結婚ラッシュ」がやって参りました

年の差カップル



何歳離れているように見えますか？

今年の第一号花嫁はRちゃん。Rちゃんは学生時代の友達で、フランスを一緒に旅した仲。そのRちゃんのお相手は……。ナント26歳の年の差があるSさん。RちゃんとSさんは、いわゆる社内恋愛なのです！付き合い始めた当時は隣の席にSさんが座っていたとのこと。書類の間にメモとか挟んで交換しちゃったりしたのかな？とか、周りにバレないように、ドキドキしながら仕事をしていたのかな？とかいろいろ想像が膨らむY子。

Sさんは実際の年齢よりずっと若く見えますが、みなさん想像してみてください……。Y子も想像してみました。職場でも歳くらいの……。頭に浮かんだあんな人やらこんな人……。うん、やっぱり27歳の年の差ってすごいです

春のおめでとう

さんお幸せに！

友人として披露宴に参加したのはY子を含めて3人。新郎新婦とゆくり話す時間のある、親族中心のアットホームな披露宴でした。かなり寛いで食事をするY子とは対照的に、スピーチの原稿を見ながら落ち着かない様子のRちゃんと同僚「スピーチ、大変ですね。」なんて言っていた矢先、「ここで、新婦Rさんの学生時代の友人からお祝いの言葉を」（略）

5月、高校時代からの友人で、「たまたま？」会社も同じC春が結婚しました。C春とY子の出会いは、95年の夏。2人という同じ高校留学団体を通して留学したのがきっかけです。C春は昔も今も、お上品でしっかり者で、更にY子の毒舌にもバツリついてきてくれるというマルチな女の子。留学中の95～96年に、何度か手紙のやり取りをして以来の友達です。「たまたま？」の「？」には実は理由があつて……。

Y子が就職活動をしていた時のT海上の採用は、説明会に参加するための整理券をもらう説明会に参加する筆記試験を受ける面接を受ける。という4段階で、全ては整理券を貰わないと始まらないのです。当時、もし予定があれば受けようかな「くらいにしか思っていない、保険会社には興味のカケラもなかったY子。整理券配布の前日にC春と電話をしていて



どこから見ても美男美女カップル



新郎新婦 & 新婦の会社同期

いなかったのです。

そんなこんなで「10年近い付き合いのあるC春です」が、やっぱり結婚式での姿は本当に幸せそのもので、今までで一番ステキでした。お相手は、C春の地元のお友達で、かつこよくて優しい「Jさん」。誰もが認める美男美女カップルです。C春がオハイオに居た時のホストファミリーも来ていて、代官山でのステキなレストランウェディングでした。C春とJさん、お幸せに〜

「やっぴい」

11月には会社の同期入社で銚子支社のTさんが結婚しました。千葉支店に配属された数少ない同期で、Y

海辺のメルメシヤ

子はいろいろお世話になりつ放し。辞書で「才色兼備」という言葉を調べたら、そこからTさんが出てきそうなくらい、この四字熟語が似合う人です。TさんとSさん、お幸せに〜

この夏、身重のNさんに誘ってもらい、大原の海に行ってきました。Y子、海で遊ぶのは久しぶり。初日は、Nさんの旦那様（Mさん）のおじさまの家で、BBQとお料理教室。おじさまはY子に、かつおのさばき方を指導、更にカニを砕いてお味噌と混ぜて作る「カニこし」の作り方も実演してくれました！普段お料理を殆どしないY子は相当出来の悪い生徒・・・海の幸はどれも美味しくて、お腹いっぱいY子。そして翌日、いよいよ海へ。Mさんとその愉快なお友達は、サザエはもちろん、尻高、岩ガキやトコブシ、タコやエビなど、とにかくいろいろ獲ってくれて、海の幸が盛り沢山。しかも、食べられてしまう運命にある彼等

いんげんわ



犯人

赤ちゃん

少子化なんてどこの国の話???と思うほど、Y子の周りでは出産ラッシュ。去年の11月22日、Y子は会社の先輩で美しい人妻Nさんと、ヒンズー教の聖地バラナシにいました。そしてちょうど一年後の今年11月27日、Nさんは第一子雪乃ちゃんを出産!!直前まで逆子だったのですが、お医者さんのハンドパワー（本当は「外回転術」というらしい）により逆子を直し、3800gのビックサイズの

雪乃ちゃん



女の子が生まれました。と

ってもかわいくて目の優しい雪乃ちゃんは、「旦那さまのMさん似」との評判。Mさんの天バがちょっぴり雪乃ちゃんに遺伝している気配があるらしく、Mさんががっかりしているとの情報。Y子の耳に入ってきており、まだナマ雪乃ちゃんを見ていないので、年が明けたら是非見に行きたいと思っています。

こちらは真琴ちゃん。会社の先輩の第二子で6月に生まれです。



そして来年2月には、中学高校の同級生、E美に第一子が誕生します!!

キャンプ@御殿場

この夏、会社の主催するサマーキャンプに参加したY子。これは、T海上が慈善事業として主催しているもの。様々な事情で両親と離れて施設で暮らしている子供たちを招待して、社員と一緒にキャンプしちゃおう!!って企画です。

社員は5人、参加した子供たちは30人程度。さてさて、このキャンプ、参加した社員にはそれぞれキャンプネームがつけられてしまします。おかげさまで、それぞれの本名は今でもうる覚え。本人には決定権が全くないため、奇妙な名前が次々と・・・

きゅるつと (♀)
「キュロットスカート率が高いらしい」ということで命名。とってもキュートな入社8年以上のベテラン社員。
サロマン (♂)
サロマ湖一周マラソンに参加したことから命名。実は管理職。
ひらめん (♀)
昔使っていたキャンプネームのこと。ヒラメと関係があるらしい。後々、その激しい性格が明るみに・・・

アチヨイ (♂)
空手をやっている（やっていた?）ことから命名。ナント!!三つ子の女の子のパパ。温和で癒し系。行動力抜群で、いざって時にはとても頼りになる存在。
シャミラ (♀)
中東に旅行した時に現地ガイドがつけた現地名。ガイドの元彼女の名前らしい。物事を捉える時の心のゆとりは信じがたいくらいに大きくて、マリア様の域です。
COCO (♀)
鶴沼海岸在住のサーfer。全体的に夏を思わせるので、夏「ココナッツ」COCO。冗談めきで、実年齢より10歳若く見える、かわいらしくてステキな女性。
ホセ (♂)
どうやらスペイン好きのために命名されたらしい。BGMのオープンカーでキャンプ場に現れる弊社エリート社員。この夏は、怪我の多い不運な夏でした。いろいろ率先してやってくれるみんなのリーダー的存在。
バスシ (♂)
「イシバシ」の「バシ」

です(↑比較的普通)。一人

でキャンプに行つてバーベキューをしてしまつほどのキャンプ好き。とっても真面目で、熱い。(厚い?暑い?)↑全部正解

コテツ(*)

本名の「テツジロウ」が変化して、「コテツ」に。墨

にとつてもカワイイ第一子、実優ちゃんが誕生。社内メー



ドショー(徹夜で作成)が送られてくるほど、実優ちゃんにゾッコン。

のぶねえ(*)

本名「ノブコさん」であなごつぱいから「のぶねえ」になつたのかな?詳細は不明。気配り上手でしっかり者ののぶねえは、コテツに第一子が生まれた日に結婚しました!お幸せに!

ペーコン(*)

本名「ハムラ」↓「ハム」↓「ペーコン」ということで命名。クールっぽく見えて実は熱い感動屋さん。↑海上のブレン。毎年クリスマスに試験があるため今は勉強に追われる毎日...

みるきー(*)

シャミールラの「みるきーちゃん」って感じ!という鶴の一声により命名。特技は手品で、子供の心を掴むのが上手。こちらも↑海上のブレン。観察力の鋭さはシャミールラのお墨付き。

ねね(*)

お茶を習つてゐる!「ちやちや」(去年のメンバーのキャンプネームとかぶるので却下)↓「ねね」。Y子と同じ年だとは思えないほど大人で面倒見もよく、メンバーの中心的存在。

チャス(*)

学生時代に所属していた空手部の挨拶より命名「チワッス」↓「チャッス」↓「チャス」。お酒が入るととても愉快で饒舌に。厳しい父、一徹(本名マコト)の話は相当笑えます。

ボッキー(*)

お菓子好きなことから「ボッキー」と命名。メンバー最年少で入社2年目。とってもカワイイ外見と性格からは想像できないけれど、実は総合職でバリバリ仕事しちやつてます。以上を踏まえて...

Y子についたキャンプネームを当ててみましょう

何となくカルメンっぽいで「カルメン」

そうめんが大好きなので「そうめん」

ゴールド免許だけど、仮免許並みの運転技術のため「カリメン」

正解は、Y子まで個別にお問い合わせ下さい

さて二泊三日のキャンプでは、自然を題材にしたゲームや工作をしたり、富士山に行つたりします。「子供のことは大好き」と、まるでまるで金八先生のようなセリフを発していたY子。ごめんなさい...:勸違ひでした。今回のキャンプを



通して学んだので、訂正します。『聞き分けのいい子供』が大好き。『ただけでした。』

子供たちは6~7人ずつのグループに別れ、それぞれのグループを、2~3人の社員が担当します。Y子はアチャコとペアになり、女の子7人のグループを担当したのですが...。小学校の3~6年生といえ

やりたい放題なお年頃...。Y子もまだまだ修行が足りないため、大人の目線から...:ではなく、子供たちと同レベルで真つ勝負!!時にはマジギレ

しかし、三つ子のパパであるアチャコは、さつすが余裕。例えば、グループ全員でやる作業があつた時のこと...:

「面倒だからやりたくない。」「もう疲れた。」「と悪態をつく子や、ふらふらと遊びに行つてしまつ子に、Y子は...:

「。。。ちゃん達が頑張つてやつてゐるのに、何でやらないの?」(↑キレぎみ)アチャコは...:

「みんなで一緒にやると楽しいよ!」(↑優しく)

二泊三日の万事がこの調子で進んで行つたのでした(笑)。そしてY子、日頃の運動不足がたた

り、走り回

る子供たちに時についていくのがやつと...。Y子の未熟さと運動不足が露呈した3日間でした

それにしても「手のかかる子ほどカワイイ」というのは本当かも。キャンプ中、手を焼いて困つた子ほど、よく思い出しちゃう今日の頃のY子です。

↑海上合併

Y子の働く↑海上は5月に合併し、↑海上N動火災となりまし

た。新会社のCMに起用されたのは、ナントゆき。社風として人気アイドルなんて起用しそがないので、これには社員一同びつくり。しかし、墨にお金を掛けすぎてしまつたせいか、マスコミキャラクターは相当イケてません...。旧会社では可愛いトラだったのに、今はひと目では犬と判別できないゴールデンレトリバー...。そしてその名もトッキーとニッ

しいよ!」(↑優しく)

二泊三日の万事がこの調子で進んで行つたのでした(笑)。そしてY子、日頃の運動不足がたた

り、走り回

る子供たちに時についていくのがやつと...。Y子の未熟さと運動不足が露呈した3日間でした

それにしても「手のかかる子ほどカワイイ」というのは本当かも。キャンプ中、手を焼いて困つた子ほど、よく思い出しちゃう今日の頃のY子です。

Y子の働く↑海上は5月に合併し、↑海上N動火災となりまし

た。新会社のCMに起用されたのは、ナントゆき。社風として人気アイドルなんて起用しそがないので、これには社員一同びつくり。しかし、墨にお金を掛けすぎてしまつたせいか、マスコミキャラクターは相当イケてません...。旧会社では可愛いトラだったのに、今はひと目では犬と判別できないゴールデンレトリバー...。そしてその名もトッキーとニッ

キー 社員の中にも、クマだとかキリンだとか、他の動物と勘違いしている人が時々います...。一度、見てみて下さい。

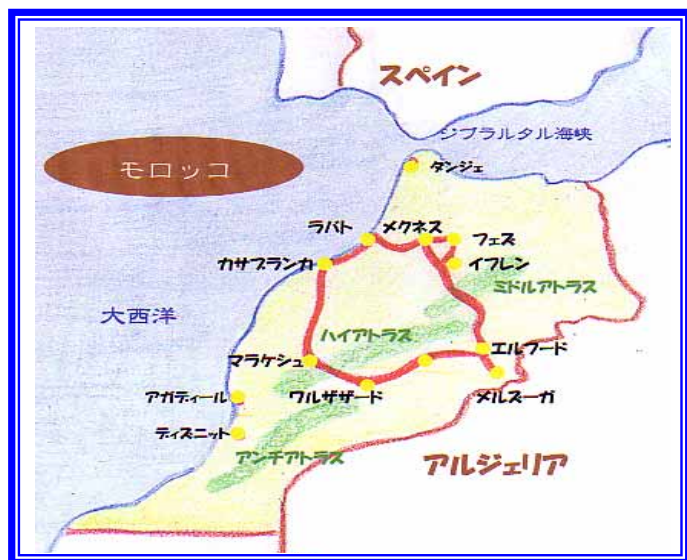
合併後、ナント女性ばかりお人の職場で働いているY子。大奥さんながらす(コワイ)。今は、とにかく



T海上最終日 制服も着納め



TDLにてかなり現実逃避気味の元T海上社員



モリツ珍道中

多
と行く

混乱中です。業務量は合併前と比べものにならないほど多くなり、思うところも多い今日この頃……。あんなことやこんなこと、書き始めたらきりがないので、お時間のある人、食事でもしながら話を聞いて下さい。あなたを朝まで寝かせません！

12/9@飛行機

うことで、今年もY子、海を渡って参りました。ナン
ト、アフリカ大陸に
出！！Y子初めてのツアー
旅行。一緒に旅するのは、
会社の大先輩A子様です。

去年に引き続き「OLは海外旅行が好き」とい

試験も旅行の準備も直前
追い込み型のY子。明け方
まで準備に追われ、意識朦
朧としながら、成田空港へ。
「モロツコツアーにご参加
の方、こちらにご集合下さ
い。」
何やら怪しいハゲ方をして

いる気弱
 そうなオ
 ヤジが集
 合の合図
 をかけて
 いる様子
 …。「ま、
 まさかこ
 のオヤジ
 が添乗
 員？」「
 というヤ
 子達の嫌
 な予感
 的中。
 この人こ
 そ、Ｙ子

達がいずれ恐れることになるマツツゝなのです。そして、マツツゝが添乗員という事実と並んで、もう一つ衝撃的なことが…。若者が…いない…。日本人のツアーだったのですが、Y子達以外は相当ご年配の方々ばかり。後で判明するのですが、彼らはほぼ全員、海外ツアー旅行百戦錬磨のリタイアメント族だったので。他のメジャーな国々には行き尽くしてしまった結果、「モロツコ」でも行くか」というノリでやってきた、恐るべき人々だったので。

そんな彼ら&マツツゝとのモロツコの旅が、エルフランス275便の離陸と併にスタート。そしてカサブランカまでの道のりで早くも、「リタイアメント族」の生態が明らかに…。

機内でモロツコの入国カードを書いていた時のこと「これはカタカナで書くの？」

「いやいや、モロツコ人はカタカナ読めないから！」「職業欄なんだけど、リタイアメントって書いとけば

「無職」(unemployed)の、
パリの空港で、現地職員
に注意された時にあるオヤ
ジが発した捨て台詞。
「外国語で注意されても分
からねえよ」
↑ここはパリ あなたの言
葉が外国語です。
はつきり言つて、彼らに
怖いものはありません。
パリで乗り継ぎ、実質2
時間ほどの長旅を終えてカ
サブランカのムハンマド5
世空港に降り立ちました。
ホテルに到着したのは、夜
中の1時近く……。疲れもビ
ークなのにも関わらず、マ
ツツいたら要領が悪すぎ
……。フロントで、チェッ
クインに必要な書類の書き
方を一組一組に丁寧にブラ
イベートレッスン……。も
つちろん、若いY子達はあ
つという間に書類を書き終
えて、長い間待ちぼうけ。
やつとそれが終わったと思
つたら、「前回は、かくかく
しかじかで……」と、過去
のエピソードを交えての、
貴重品の管理の重要性の講
義。マツツ、それは明日

12/10@スパート・エス

でいいから、早くお部屋に行かせてー！と発狂寸前のY子達。その講義がやっと終わり、釈放されたのは18過ぎ。やっと眠りについたのは20を回ったころでした。でも翌日は20に起床しなければなりません。ツアーって意外とハードなのね…

またもや意識朦朧としながら出発の準備をするY子。A子様は毎朝とつてもだるそうに出勤するため、朝は不機嫌なのかと思っていたのですが、時間通りに起床し、テキパキと準備する姿にY子びっくり。Y子の方が寝起きが悪い……。

朝食を済ませてY子達がバスに乗り込もうとしたのは出発の3分前。そこへすかさずマツツの登場。

「A子様・Y子様、だいぶ遅れてますよ。」

「まだ88になってないですよね？」

「出発が830ってことはお分前には集合していただくということですよ。」

「マツツ、そんなの、集合

8.20, って書いてよー。しかも遅れてるわけじゃないんだからいいじゃん!!」でもでも、さすがにリタイアメント族の朝は早い。20分前には既にバスに全員着席。確かにそれに比べたらだいぶ遅れてるわね…。

初日は、首都ラバトと古都メクネスを観光。観光中もリタイアメント組からほんの50mくらい離れると、すかさずマツツ〜が寄ってきて、「だいぶ遅れてますよ」とイエローカード。若いからすぐに追いつくの…。マツツ〜、Y子達を相当マークしている様子。フェズに到着したY子たちは、そんなマツツ〜の監視から逃れ、夜の町へ!! かし…、何もなし…。この国では、ほぼ全ての町の



首都ラバト
大西洋を望むレストランで昼食



12.11@フェズ

いよいよモロッコの京都、

メインストリートに「ハッサン2世通り」と「ムハンマド5世通り」という名前が付いています。この二つの通りをマスターすれば、もうあなたはその町を庭にしたも同然。そんなメインストリート、ハッサン2世通りを歩いて、数件のカフェや居酒屋がある程度。Y子達は、男性しかない居酒屋で（イスラム教なので）若干の注目を浴びながら（？）フェズの夜に乾杯！！

フェズの観光です。マツツは朝のバスの中から、ぬかりのないガイドっぷり。メディナを歩くにあたって「立ち止まって写真はとらないこと」「荷物は前にもつこと」「デジカメはファインダーモードで撮影すること」「前の人の後につくこと」などなど次から次へと出てくるマツツの諸法度！しかし、それは「全て自己責任でよろしく。マツツは免責だからね」という意味だったのです。この先マツツの口から幾度となく出てくる自己責任論……

それはさて置き、Y子がモロッコで一番見てみたかったのは、フェズの旧市街のパノラマ。写真にしてみようとイマイチですが、肉眼で見ると実際の街並みは、歴史を感じさせるとても美しい街並みで、Y子の期待通りでした。そして、実際にメディナ（旧市街）に入ると、そこは細い道が網の目のように入り組んだ、まさに迷宮都市。1000年以上前に造られた街

が、ロバや馬、沢山の人によって今でも活気に満ち溢れた現役の町として存在していることに驚かされます。歩いているだけで楽しいY子でした。迷宮都市を無事引率し終えたマツツから思わず出た一言……「滞りなく終了致しました」

この日の観光は早めに終わり、18時にホテルに到着したため、若干自由な時間ができたY子達。すかさずホテルを飛び出し、旧市街へ。夕方でも賑わっているスーク（市場）をぶらぶらと歩き、フェズの町を満喫。やっぱりフェズは迷宮都市です。Y子達はスークの奥の方に進んでいると思っていたのに、気付いたらスークの入り口に戻ってしまっていたのです……。恐るべし！迷宮都市。

更にアラブを満喫するため、スークのおやじカフェでお茶することに。モロッコでは、とっても暇そうなおじさん達が、カフェの外の椅子に道路側を向いて座って、ポーンとお茶をしている姿をとにかくよく見かけます。イスラムの国な

ので、カフェにいるのもほぼ100%男性。お店に入ると英語で注文をとってくれる親切なおじさん登場。店員さんかと思ったら、全くの一般人……。Y子達の注文（ちなみにY子が頼んだのはモロッコ名物ミントティ

ー。ミントの葉が大量に投入されている激甘茶）をとった後ふらふらとスークの中に消えて行ってしまいました。しかし……8分くらい経つと、どこからともなくそのおじさんが再登場し、注文もせずにお店の椅子に座り、隣のおじさんと喋っているのです。お国柄なのか、お茶をするしないに関わらず「気が向いたらカフェに座ってのんびり過ごす」という人がとっても多いことを発見！

更に、暇そうな右隣のベルベル人は、「日本人がどう？伝統的なモロッコの家を見せたいよ」とA子様をナンパ、そして最後には求婚「マリアージュ、キャメル、ティン」

「日本語訳

「ラクダは頭で嫁に来ないか??」

行きませ〜ん！！左隣のおじさんはY子達の気を引きたいらしく、どこからともなく入手したヨーヨーで思いっきり一人遊びを始めました。そして……しきりにY子達の方を向いて微笑んでいます。一緒に遊んで写真を撮るとすっかり満足した様子で、ふらふらとスークへ消えて行きました。でもやっぱり……しばらくしてピーナッツ持参で再登場。少し食べた後、残りをY子達にプレゼンとしてまたスークへ消えて行きました。

おやじカフェを満喫しているうちに日は沈み、そろそろ夕食の時間。ヨーヨーおじさんが戻ってこないため、おじさんのお友達と思われる人にピーナツのお礼を託し、ホテルへと戻ります。戻る途中、またベルベル人登場……。モロッコは7割がアラブ人、3割がベルベル人です。ベルベル人は大柄なので、外見だけでもおおよその判断はつきま

す。ただ、彼らは話かけて



ヨーヨーおじさんとY子

来る時に必ず「ベルベル、ベルベル」とベルベル人であることを自己申告するので、「またベルベルだ！」とすぐに分かってしまうのです。ベルベル人つナルシストな民族なのかも。さて、彼もまたA子様に求婚。A子様、ベルベル人に大人気！今度はラクダの他に、メディナタクシー（ロバ）付き。さつきより好条件どうするの？A子様。そんなベルベル人に捕まっているうちに、夕食の間は一刻と迫ってきます。「遅刻したらマツツに叱られる〜！！」ってことでハッサン2世通りをA子様と全力疾走！！夕食にはかろうじて間に合いました

12/12@アトラス越え

いよいよアトラス山脈を越え、砂漠の街「エルフード」へ向かいます。何とバスで7時間以上の移動。

フェズを出発して間もなく、ハートフルな旅行を目指すマツツの提案により、それぞれ自己紹介をすることになったのですが…そこで発覚する驚愕の事実…。

「退職して世界地図を広げたら行ってみた国が8カ国ありまして、今回が8カ国目です。」

「年に5回のペースで旅行しています。2月にはリオのカーニバルに行きます。」
「そんな人たちがっかりなのは、A子様もY子も完敗…。そのお金の半分くらい、次世代の年金給付金に回しては頂けないものかしら？？なんて…」

さて、最後にマツツの自己紹介です。百戦錬磨のリタイアメント組にヨイシヨされ、いい気分が饒舌に語り始めるマツツ。しかしそれは涙涙の苦勞人生のお話だったのです。

「実は私、もともと自動車

関係の会社に勤めておりまして…」

どうりでAの話とかBの話とかが多いわけね
「バブルが崩壊後、地方の工場に行くか辞めるかという選択を迫られました」
あー、リストウされちゃったんだー！確かに真面目筋で…要領悪そう

「一年間の猶予をもらって、必死に勉強して、旅行の資格を取って、自分の好きだった旅行を運よく仕事にできたというわけで…」

努力家の苦勞人なのね…。
「そんなわけで頭も薄くなつてしましまして…」

自分のハゲをネタにできるとは、若干のユーモアセンスもあるのね、マツツ
「それでですね、またヨロのテロで旅行業が冷え込みまして、一時期この仕事を離れてホテルなどで皿洗なども致しました。」

マツツ…たら苦勞人(涙)
「また、旅行業が回復して参りましたので、今こうして皆様と一緒に旅行をさせて頂いていると、まあそういった具合です。」

マツツ、これからも頑張

つてね

さて、バスはアトラス杉の生い茂る山道を抜けると、荒涼とした風景が広がる場所に出ます。行ったことはありせんが、オーストラリアのエアーズロックのような、アメリカのグランドキャニオンのような…。そんな赤

茶色の土地がどこまでも続き、その奥には雪化粧をしたアトラス山脈が聳え立っていて、色のコントラストがとってもキレイ。アトラスの山の中では、周りに煙らしきものも見当たらないような所に、ポツンと立っている日干し煉瓦の家を時々見かけます。一見廢墟かと思ってしまうのですが、よく見ると洗濯物があつたりして生活している人がいることが分かるのです

が…、こんな山奥で果たしてどうやって生活するのだろうか？？というのがY子の疑問。遙か向こうに見えていたアトラス山脈を越えて、砂漠の町、エルフードに着いたのは日が沈んだ後でした。夕食後、ナイトライフ

好きなA子様と、夜の町に

アトラス山脈の羊飼いさん



繰り出します！！

しかし、エルフードの町は、人類が滅亡した後の町…というか、開拓時代のアメリカ西部の荒廃した町のよう。モロッコ第三の都市フェズでさえ、町全体がN.O.にはほぼ閉店なので、N.O.過ぎの砂漠の町が静まりかえっているのも無理はない…。A子様とY子、とりあえずスークまで歩いてみることに…。そうすると、何やら怪しげな二人組

みが近寄ってきて、
「ベルベール、ベルベール」
おつとおつ…またまたベルベル人だあ！！今度はラクダ何頭くれるの？？ロバは付いてくるの？？
頼んでもいないのに、スークまでの一本道を案内し

てくれるベルベル二人組。
A子様、ここでもまたN歳ベルベルに求婚される…。もう一人のN歳の少年も相当なおませさん。スークへもちらん既に営業は終了。まで行つて満足したA子様とY子。ホテルの前でベルベルとお別れ…。

ちよつとだけ夜遊びしちゃつたけど…。いよいよ明日はN.O.起きて、砂漠の日の出を見に行きます！！

12/13@エルフード

N.O.起床 6人ずつ汚いランドローバーに乗り込み、まだ真つ暗な中、いよいよサハラ砂漠に向けて出発。夜空には見たことのないような満点の星空が広がり、流れ星も何度も目撃。もちろん、Y子のお願いは「お嫁に行かれますように」。

一時間半ほど道なき道を走り、砂漠の拠点に到着。そこからは歩いて、メルズーガ砂丘を目指します。日の出がよく見えるポイントまでは徒歩お分。

「ラクダは危険ですので、極力乗らないで下さい。どうしても…」という方には、

禁止はできませんが…。会社からもそのように言われておりますので…」

と初日から何度も繰り返しY子達を洗脳してきた真面目一筋マツツ。そのマツツの努力が実り、全員徒歩で砂丘を目指します。しかし、またまた大量のベル

ベル人が…。今度は求婚目的ではない様子。砂漠は砂の粒子が細かく、足を取られがち。そこで…「そんな観光客に手を貸してチップもらおう商法！！」のベル

ベル人が大量に待機しているのです。真つ暗な中、民族衣装に身を包み、時にはターバンを巻いたベルベル、サハラ砂漠の夜明け



ら人近くに取り囲まれてしまったA子様とY子。断つても付いてくるので、やむなく人気タレント並みのお付きを従えて、ひたすら前進。暗闇と砂漠と大量のベルベル達は、はつきり言っ

て恐怖です。このまま宇宙に連れて行かれるのでは？という気持ちにさえなってきたほど……。

き分後、日の出ポイントに到着！！底冷えのする寒さの中、日の出を待ちました。残念ながら雲に邪魔されきれいな日では見ることが出来ませんでした。それでも朝焼けに浮かぶ砂丘はとても幻想的で大満足のY子。帰り道、「ラクダの糞に気を付けて下さい。」とマツッ。マツッ、行きも同じ道を通って来たのよ……。今頃気を付けても、A子様とY子のシルエツト



もう遅いっば。

ホテルでの朝食後、トドラ溪谷に向かいます。その道中では、大小様々なカスバ（要塞）やオアシスを見ることが出来ます。Y子、そろそろバスの移動にも飽きてきて……A子様の証言によると、ひたすら寝ていた模様。

トドラ溪谷は200m以上の切り立った岩壁が、道の両側に立ちはだかる迫力満点の景勝地です。



です。余談ですが、モロッコはみかん王国で、デザートといえば、高い確率で「みかん」が出てきます。

12/14@デザート

この日は世界遺産「アイトベンハッドウ」へ。Y子はこの日もひたすら爆睡。

「アイトベンハッドウ」は日干し煉瓦で造られている要塞化された村。特別な歴史があるわけではなく、

単なる「村」ですが、その不思議な風貌から、世界遺産に登録されています。現在は、ユネスコからこの村の管理を委託された5〜6家族が住んでいるだけ。

その日のお昼、A子様とY子が座ったテーブルのメニューはとっても愉快。料理の味が足りないといって、バックの中から醤油は出てくるし、またまた出てきたデザートの「みかん」の争奪戦まで繰り広げられました。今度は何の加工もしない「みかん」です。勝った人から大きいみかんを獲得できる！という極めて単純なルール。みかんをかけて、一同真剣にジャンケンポン

ンポン

世界遺産を跡にしたY子達は、再び雄大なアトラス（一番高い山は3,000m）を越えてマラケシュに向いました。空に近い、雲の影が山に写るといふ不思議な風景と、山越えのスリルはサイコー！でした。

12/15@MARRAKECH

モロッコ第二の都市、マラケシュにやってきました！マラケシュの町は建物がオレンジのような色で統一されており、法律でそれ以外の色の建物は建てられないようになっていました。バスまで同じ色という徹底ぶり。

午前中、サアード朝の墳墓群や、バイア宮殿を見学し、午後からスークへ。マラケシュのスークはフェズより入り組んでおらず、全体的に新しい印象を受けましたが、その活気はフェズ同様。フェズでは見かけなかった、各職人街は特に印象的。細い路地を進んでいくと、金属職人街、皮職人街、家具職人街など……。左右に広がる作業場が次々変わっていき、聞こえてくる音や匂いも変わってゆきます。TDLのカリブの海賊で見る光景にちよつと似ているかも。一坪くらいに区分けされた作業場がどこまでも続いている、とつても生活臭い感じがします、Y子オススメのスポットです。そして、マラケシュの活気を体感できるもう一つ



の場所は、メディナの中心に位置するジャマエルフナ広場。とにかく人が多く、夕方になると屋台が開かれ、おいしそうな匂いがあたりに充満します。一通りの観光を終えた後は、「オプシオンで馬車に乗ってマラケシュ観光する人





ジャマ・エル・フナ広場の屋台

は、馬車へ、それ以外の人はホテルへバスで帰る」という予定でした。しかし、ホテルに戻っても夕食まで2時間くらい時間があがり、中途半端…。もうちょっと観光して帰ると夕食の時間にちょうどいい。そこで、オブションに参加しないみんな、マツツに相談。
「もうちょっとバスの出発を遅くできませんか？」
「真面目一筋のマツツは、それは会社で禁止されているので、できません。」
「じゃ、自力でホテルに戻るの、もうちょっとここに居てもいいですか？」
「それも禁止されておりますので…」
ということで、泣く泣くバ



モロッコ料理の
クスクスとタジン

スでホテルに強制送還されるY子達一行…。ホテルから旧市街は結構遠いので、もう一度旧市街に出たら夕食までには戻れない。しかし、夕食の後だと、町全体が閉店のお時間。そこでA子様とY子、マツツに「夕食は要りません。」と置手紙を残し、夜の旧市街へ…。スークなどをぶらぶらしていると、またまたベルベル人登場。勘違いベルベル人はA子様を指差し、「Ouais my body」とか何とかつぶやいていました。が、うとうとしいので無視。
夕食は、夜になって一層活気が増したジャマエルフナ広場に面したレストランで、タジン（モロッコの煮込み料理。鶏肉のタジン、野菜のタジンなど何でもありです）とクスクスを食べ、マラケシュに別れを告げました。A子様とY子は、マツツに叱られるはしないかとドキドキ…。マツツのことで、どこかで待ち構えているかも…。というところで恐る恐るホテルに戻ったY子達。第一関門のフロントはクリア。そしてY子たちが泊まっている3階のエレベーターホールにもマツツはいません。そして、とりあえずその日、マツツのお叱りはありませんでしたが、翌朝、A子様、Y子様、昨日は大変心配いたしました」とチクリ！さすがマツツ、ぬかりない…。そしてリタイアメント組は興味深々の様子。「昨日はどこに行ったの？」「若いうちいいわね」

2016@カサブランカ

マラケシュからバスで4時間。カサブランカに戻ってきました！モロッコを一周して来てこの町でも同じだったのが、イスラム教の国なのにお祈りしている人を殆ど見かけないということ。パラボラアンテナが非常に多いということ。一つの建物の上に百個以上もパラボラがあることがし

ばしば…。この国、絶対宇宙と交信してる…。

到着後、海辺に立つ美しいハッサン二世モスクを見学してホテルへ。最後の夜も、夕食キャンセル計画を練っていたY子達。若干の疲れもあったので、どうするか決めかねていたのですが、とりあえずマツツに「夕食要らないかもしれない」と予告。するとマツツ、「本来、ツアーのコースから外れる場合、書類を書いていただかなければならないのですが…」
あ、勝手に行動している間に何か起こしたら旅行会社は免責ってやつね？
「書きまーす。」
だって曲がりなりにも保険会社勤務だし、免責事項は心得ているつもり。何かあってもマツツの責任は問

われないから安心して…。書類なんか何枚でも書くわしばらくしてマツツ、ツアー一時離脱届を持ってきます。マツツって本当に真面目。Y子達も疲れていたの、結局その日はホテルで食事をすることに決定。しかもビュッフェではなかったの、Y子達、大満足（毎日ビュッフェだったの、それに飽きてしまい、外食を考えていたのでした）マツツ、ビュッフェじゃないなら早くそう言てよ。迷うことなかったのに…。

食事の後、ハイヤットホテル内の「Bar Casablanca」へ。ここは映画「モロッコ」に出てきた「Café Arabe」を忠実に再現してあるところです。そこでゆつたりとコーヒーを



美しいモザイクのハッサン2世の塔



コテコテの観光客の
A子様とY子

飲み、モロッコ最後の夜を終えたのでした…。最終日は飛行機の関係で8時起床です。やっぱりツアー旅行ってハード…。

編集後記

この一年間お世話になった皆様、本当にありがとうございました。小泉首相は意味不明だし、プッシュは再選しちゃうし、大雨とか地震とか津波とか…。今年も世界は雨模様でした。そして私はというと…。なかなかぴつたりとした表現が見つかりませんが、何となく「木を見て森を見ず」な毎日を送っている気がするの、2005年は森を見たい！と思っていました。皆さんにとって2005年が素敵な年になりますように。来年もよろしく願います。